

国労千葉運輸区分会機関紙  
発行責任者 鶴岡 良男  
編集 教宣部

# 千葉運輸区新聞

## 人への投資と健全な労使関係を！

JR東日本は、少子高齢化・就業人口の減少・働き方の多様化等により利用者の減少に歯止めがかからないと、社会的要因をこの会社の持続の危機ととらえているが、私達は、会社内にこの会社の持続を脅かす要因があることを、主として二点について指摘しておきたい。

### 人材枯渇の危機

今春闘では、物価高と長年の低賃金からの転換を焦点に、大幅な賃上げが求められる状況にもかかわらず、JR東日本の社長は賃上げに慎重な姿勢を取っている。折しも、株主偏重の資本主義の見直しが進んでいる。

み、日本も蚊帳の外には入れられない状況が訪れつつある。欧米のある企業の株主総会では、「立派な経営計画だが遂行する社員は確保できるのか」という質問が出るそうだ。JR東日本も離職率に上昇がみられ、賃上げも低く抑えるようでは、採用も困難になってくるだろう。大幅な賃上げは待たないだ！

### 健全なチェック機能喪失の危機

JR東日本の労働組合員は、社員の20%を割り込んでいる。当然のように会社は、新たな施策を次々に提案し、労組との交渉も待たずに社員に発表し推し進めている。労組が少数派に追い込まれたため、団体交渉も形骸化し、アリバイ化している。

本来は、現場で働く労働者から上がる不安や、危険因子の指摘に真摯に向き合い決定されていくべき経営方針が、経営陣の判断だけでスピードアップしていく。経営陣だけの判断では、利益重視・コストカット中心に傾かざるを得ない。労働者の視点が必要である。今こそ、労働組合の再建が急務だ！

# 労働組合に入ろう！！

